川面の小船に取乗る岸のとにねらひ射る矢小村を
なる流る流れ矢くるへ射千射しめられ
見も又落る合戦と見てとり出と三萬の細
屋右る助よりにゆく。何合の戻り押あひ
時の陽炎の如くみえ渡くる所小坂落さん
原ふつと絶小隊く成る所へ落来矢庭助三
百ばかりにて懸小四つ方の矢前へ出入くも
堰と成戦小細屋野城中の敵し様成の敵
さに逃ちれくなれへりと勇と勇くよ者を
見捨小合戦小打負るとこそ笑ふりけれ三つの
大将小首ニ下の侍共吸の落ちりうち様小敵
そ後く喰小大なり。ゆ小あ方の軍小来小
ちりぬれ小後の光民民小川む事小大敵を見
その後ろ小敵やとそ恐しとそ見し色見しこそ
▲越後勢越前小越る事
越後勢越国小も地上野小後く射田の一騎
先懸ると云ふ小後の勢越前勢の国ニ
ねる。已小名乗ハ一個の坂れ敵ハ寄ニ
鮮小後ニ日久ハ寄ニ小国ニ乗ニ
へ後とそ後ニ後ニ大介田原ふり